

# 一般質問通告書

【第70回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様  
 多可町議会議員 清水 俊博



受 領 日	番号
平成28年 6月10日 午前・午後 9時17分	12

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p>1. 増加する1人世帯等、安心・安全な老齢期を送る                  「公的福祉サービス（仮称）」が必要です</p> <p>超高齢社会の進展等により1人世帯・相続人不在等の世帯が増え・手術・介護等が必要な時など人生の各ステージにおいて「保証人」が確保できない事態が発生し「最適な手当て」が受けられないというケースが増えています。                  成年後見人制度では補えない事象もあり 1) 病気 2) 住まい 3) 安否確認 4) 生活 5) 資産管理 6) 介護 7) 死亡後等々における・窓口、受け皿を整備し、天涯孤独であっても最後まで安心して人生・老後を過ごせる制度が、今、必要とされ求められています。町長のお考えを伺います</p>	町長
<p>2. 「食品ロス」わが町の現状と対策は如何に</p> <p>我国では年間約642万tもの食品が捨てられ、その総量は魚貝類の年間総量622万tを大きく上回る量です。その内訳では312万tが家庭から又、その他331万tを商店や工場から出ています。家庭からの312万tのうち、調理くずで56%、食べ残しで39%、その内手つかずのものが22%もあるとのこと。他方、公立の小中学校の給食でも1人あたり47杯分の7.1kgがロスとの調査結果も出ています。家庭・地域・学校等全域に亘る取り組みが必要です。本町の食品ロスの現状及び、その減少対策、今後の取り組み策を伺います。</p>	町長
<p>3. 若者の社会参加・一員としてのシステムづくりが必要                  （多可町高校生議会から見えてくるもの）</p> <p>5月28日（土曜日）本議場で14人の高校生から真剣な一般質問がありました。初回であり又、庁舎移転を控え双方とも非常にタイトな日程での開催でした。通学路・公共施設・人口減少・多可町の将来・・・率直で忌憚のない質問&lt;将来の納税者 明日の多可町、我が国を担う世代の皆さん&gt;からのアプローチであり、今回の模擬議会を通じた「次世代からの提言」でもあります。                  ご感想又、今後の同世代へのアプローチ等について町長のご所見を伺います。</p>	町長